

〈トマトサビダニ〉

学名：*Aculops lycopersici* Massee

1. 被害

葉は黄褐色となり、下葉から枯れ上がる。このため土壌病害と間違しやすい。

果実は灰褐色になり、硬化して多数の亀裂を生じる。主に施設で発生し、露地では少ない。

2. 生態

発育は高温・乾燥を好み、1世代が6－7日と短い。休眠性は確認されていない。

3. 寄生植物

トマトのほかナス、ペチュニアなどナス科植物にも寄生する。

4. 防除

- 1) 苗を購入する際は、予防散布をする。
- 2) 多発した株は焼却処分する。
- 3) ケルセン乳剤40の効果が高い。

5. 記事

本種は1995年2月と5月に、南多摩および北多摩の施設栽培トマトで発生した。

〈トマトサビダニ〉



成虫



被害の顕著な下葉



健全葉（左）と被害葉（右）